

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	ナショナルセンター・バイオバンクネットワークを基盤とする疾患別情報統合データベースを活用した産学官連携による創薬開発研究
代表機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
研究開発代表者名	後藤 雄一
全研究開発期間	令和2年度 ～ 令和6年度（予定）

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000107658.pdf>

2. 総合評価

- ・優れている

【評価コメント】

ナショナルセンターバイオバンクを基盤として疾患別情報統合 DB を一から構築し体制が整いつつあり、免疫疾患でやや遅れがあるものの、解析されたオミクスデータの登録数も着実に増加しており、しっかり進めている。これから成果が出てくる段階であり、今後の進展に期待したい。

そのためには、参画企業のニーズを確認し、要望に適したデータを非競争的フェーズの段階から蓄積し、計画に従って円滑に競争的フェーズに入れる様に進めること。

以上